

インターネット1996ワールドエキスポジション

1. 世界で初めてのインターネット万博

日本	29団体
韓国	12団体
米国	8団体
台湾	2団体
オランダ	2団体
カナダ	1団体

表1 オフィシャルオーガナイザーの数

「インターネット1996ワールドエキスポジション（以下エキスポ）」は、インターネット上で行う仮想的な万国博覧会として1996年の1年間にわたって開催された。その主な目的は、情報基盤の整備と先進技術の実験を通じて次世代のインターネットを先取りして実現し、その環境を利用して新たな共同作業（コラボレーション）の可能性を探るということ、そしてその成果をできるだけ多くの人に体験してもらうことにあった。具体的には参加各国を「インターネットレイルロード」と呼ばれる45Mbpsの超高速バックボーンで接続し、その周りに設置した巨大なサーバーが会場（セントラルパーク）として使われた。

エキスポの会期中にはパビリオン出展者として80の国と地域からの参加があり、130の国からおよそ5000万人が「来場」した。子どもから大人、エンジニア、政府機関など、さまざまなレベルでの参加があったことは、まさにインターネットの特徴であるといえるだろう。その中で特に盛り上がりを見せたのがアジア地域で、韓国、シンガポール、台湾では政府レベルでのサポートがあり、タイは建国50周年事業がホームページで公開するとともにカンボジア、ラオス、フィリピンなどのホームページ制作に協力するなどの支援も行った。

セントラルパークへのアクセス数 4500万ヒット
セントラルパーク以外のパビリオン数 1372
Expo全体のアクセス数 5億4000万ヒット
ホストコンピュータ 500万台
アクセス当たりの閲覧ページ数 平均9.5ページ
来場者総数 4800～5000万人

表2 エキスポのアクセス統計
出典：<http://japan.park.org/Japan/Closing/08.html>
10/30までのデータの推定値で計算

2. エキスポによるインフラ整備の加速

日本ではWIDEプロジェクトがエキスポの技術面を担当し、参加国の中で最も多いオフィシャルオーガナイザーがその推進役となった。特筆すべきことは、このエキスポをきっかけに日米間のインターネット回線が14Mbps回線から45Mbps回線へと増強されたことである。国内バックボーンにも45Mbpsの高速ネットワークが敷設され、テラバイト級のファイルサーバーを日本全国8か所に設置されて「日本ゾーン（日本館）」が作られた。

この「日本ゾーン」では、日本組織委員会独自の企画が展示されるテーマ館「sensorium（センスの館）」と参加各企業の実験や番組が見られる一般出展パビリオン（28サイト）が設けられた。さらに、だれでもエキスポで行われているイベントや実験を快適な環境で見られるように、日本全国に43か所の「パブリックアクセスポイント（PAP）」が設置された。これはエキスポに参加している企業のショールームやイベント会場などに高速ネットワークで接続されたコンピュータを用意するというものだった。エキスポに出展されたコンテンツでは、コンサート中継や、ビデオ・オン・デマンド、ミュージック・オンデマンドによるイベント中心の配信が目立っていた。

一般家庭からの専用回線によるインターネット利用の実験として、公募などに

第1章 日本のインターネット、この1年の動き

インターネットエキスポ1996ワールドエキスポジション

より300人に128Kbpsの専用回線とルーター、パソコンが1年間無料で提供された(128KTTHプロジェクト)。これはNTTがサービスを開始したOCNを先取りするものである。ただし、「300世帯のうち、サーバーを自力で構築できたのは多くて1割たらず」(力武健次氏)という報告もあり、サポート面での課題も残された。

なお、日本サテライトシステムズの協力によるインマルサット人工衛星を使用(75cmの携帯用機材を使用)したIP接続実験も世界にさきがけて日本で行われた。

(編集部)

【エキスポの主なイベント】

1月1日	Internet 96 World Expo開幕
4月16日	Internet 96 World Expoグランドオープン
5月15日	ライブ「東京MIX-UP DISCO」を香港から生中継
7月7日	EPOセタコンサート(みさと天文台)
7月19～8月4日	アトランタ・オリンピック
7月24～26日	N+I 96会場からインターネット放送
8月15～24日	「第2回ラリーレイドモンゴル」をモンゴルから生中継
8月28日	「坂本龍一トリオツアー1996」を中継
9月18日	インターネット・アート展「Meet the Network」
11月1～10日	日米野球「Sun SUPER MAJOR SERIES」を生中継
11月22～24日	インタラクティブ音楽パフォーマンス「Brain Opera」開催
12月5日	Internet 96 World Expoのクロージングセレモニー開催
12月31日	長崎ハウステンボスから大晦日のカウントダウン生中継



図1 インターネット1996ワールドエキスポジションでは国内の43箇所にパブリックアクセスポイントが設けられた



図2 人工衛星を利用したIP接続実験などの先進的な試みも行われた



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp